

これでお金がだいぶ助かるなあ

自分の部屋に戻り、久しぶりに小型ラジオで音楽を聞く。

耳にあてて、隣接感を持たせて、

窓を開けて、窓のそばに立ち、

夕暮れで赤く染まる伏見桃山城をおおぐ。

去年の秋、いつだったか、朝例の壇上で、校長が、ヨーロッパへ行った時の報告をしたのを思い出した。

ローマからの帰り、ギリシャのいなか町の駅での事だ。

校長がベンチに座って汽車を待っている時、

隣にいた老人が小型ラジオをもっていて、

そこから流れ出る美しい音楽に聞きほれていた。

しばらくして、その老人は校長に話しかけた。

「神父様、いい曲ですね。
この小さなものから、良く、こんないい音が出ますね。
どこで作られたものなんでしょうね。」

校長がそのラジオを手に取り見ると、

ソニー、メイド・イン・ジャパンとあった。

「これは、はるか極東の国、日本で作られたもんですよ。」

と校長が答えると、

「へえ、日本って、どんな国なんでしょうね。」

と老人はラジオを手に取り感心していたと言う。

校長は、今自分はその美しい日本に住んでいて、

人々は、勤勉で礼儀正しく、その国の若者が成長するのを見守るのが、自分の楽しみだと答えたと言う。